

3. がん検診対策

(1) 目標項目

- ・がん検診の受診率の向上
- ・がん検診の精度管理の均てん化

(2) 到達目標と各機関等の主な取組

到達目標	計画当初		現状		目標 平成24年度
	全体 平成16年	住民検診 平成17年度	全体 平成19年	住民検診 平成20年度	
検診受診率	%	%	%	%	%以上
胃	28.9	11.7	31.3	10.8	50.0
子宮	24.7	23.6	23.6	24.0	50.0
肺	20.8	30.5	30.7	29.2	50.0
乳	25.2	29.8	23.8	24.4	50.0
大腸	22.9	18.1	26.9	25.9	50.0

検診受診率 全体:「国民生活基礎調査」に基づく受診率(3年毎調査)
住民検診:「市町からの事業報告」に基づく受診率(毎年報告)

精度管理・事業評価実施市町数	0市町	2市町	17市町
----------------	-----	-----	------

①がん検診の受診率の向上

行政	県	<ul style="list-style-type: none"> ・企業、関係団体等と連携した県民へのがん検診の重要性、必要性の普及啓発 ・関係各所に対するがん検診に関する健康教育・研修会への支援 ・受診率向上につながる検診体制(広域実施や同時実施等)に向けての調整
	市町	<ul style="list-style-type: none"> ・受診率向上のための検診実施体制の見直し(改善計画の策定) ・重点的に受診勧奨すべき対象者の把握と実施体制の強化 ・地域の関係団体等と連携した住民へのがん検診受診勧奨の強化 ・住民に対するがん検診の重要性・必要性の普及啓発 ・早期がん発見率の増加に向けて住民へのハイリスク情報の提供 ・がん検診担当者への情報交換の場の提供
医療機関		<ul style="list-style-type: none"> ・検診機関として、定期的な受診勧奨早期がん発見率の増加に向けてハイリスク情報の普及啓発 ・医療機関(かかりつけ医等)を訪れる患者に対するがん検診の受診勧奨
職域		<ul style="list-style-type: none"> ・受診者の増加につながる検診体制の工夫 ・従業者に対する受診勧奨の強化
県民、患者・家族		<ul style="list-style-type: none"> ・がん検診の重要性・必要性(ハイリスク情報含む)に関する知識の吸収 ・身近な人への受診勧奨

②がん検診の精度管理の均てん化

行政	県	<ul style="list-style-type: none"> ・がん対策推進協議会及び各がん部会による精度管理に関する事項の検討(県指針の作成) ・市町や検診実施団体に対する精度管理指標の定期的な公開 ・がん検診従事者に対する定期的な教育・研修の実施 ・地域がん登録資料との記録照合による精度管理の実施(偽陰性率の把握) ・医療機関に対する精密検査結果報告の円滑実施への協力依頼
	市町	<ul style="list-style-type: none"> ・科学的根拠(国・県指針)に基づいた検診の実施 ・精度管理指導を盛り込んだ仕様書の利用 ・がん検診事業に対する事業評価の実施
医療機関		<ul style="list-style-type: none"> ・検診機関として、科学的根拠(国・県指針)に基づいた検診の実施 ・標準的で精度の高いがん検診精密検査の実施 ・精密検査結果報告体制の確立と円滑実施 ・県医師会、地区医師会によるがん検診精度管理への協力
職域		<ul style="list-style-type: none"> ・県作成の指針を活用した検診の実施
県民、患者・家族		<ul style="list-style-type: none"> ・適正年齢、適正間隔でのがん検診の受診 ・検診結果に対する適正な対応と知識の吸収